



命を救う 早期発見・早期治療

問合せ 健康推進課
(☎372-3311・内線1216)

2人に1人ががんに

日本では2人に1人ががんにかかると言われ、3人に1人ががんで亡くなっており、死亡者数は年間30万人を超えています。

市民の死亡原因の第1位もがんです。これに心疾患・脳血管疾患・糖尿病などの生活習慣病を合わせると、死亡原因の約7割を占めます。

生活習慣の見直しを

毎日の生活習慣ががんの原因になることもあります。原因の一つとして挙げられるのが喫煙です。たばこは肺がんをはじめ、食道がん、膵臓がん、胃がんなど多くのがんの原因になります。

また、非喫煙者がたばこの煙を吸い込んでしまう受動喫煙も、原因の一つです。喫煙者が体内に吸い込む煙に比べ、火のついたたばこから大気中に出る煙の方が、より多くの有害物質を含むことも分かっています。禁煙のほか、節酒・食生活の見直し・運動・適正体重の維持といった生活習慣の改善は、がんの予防に有効です。がんにかかる可能性を減らすためにも、生活習慣を見直してみませんか。

早期発見が命を救う

がんと生活習慣病は、自覚症状がないまま進行します。症状の有無に関わらず、定期的ながん検診や健康診査を受診し、早期に発見・治療することがとても大切です。

職場などで受診する機会がない方は、市の検診を受けましょう。

市で実施している検診

市のがん検診を受診する場合は、事前に申し込みが必要です。担当課と各出張所、団地住民センター連絡所、エルフィンパークで受け付けます。

受診券を発送するまでに10日程度かかりますので、希望する方は早めに申し込んでください。

申込期限 平成31年3月31日
*右表のほか、骨粗しょう症検診、エキノコックス症検診、30歳代健診などがありますので、詳しくは担当課にお問い合わせください。
*集団検診の受診料(自己負担額)も、右表と同額です。

70歳未満の方は、申し込み印鑑が必要です。



検診の種類	対象(年齢は受診日現在)	受診できる医療機関	受診料(自己負担額)	
			住民税課税世帯	非課税世帯か70歳以上
乳がん(マンモグラフィ)	40歳以上で平成29年度未受診の女性(2年に1回)	対がん協会、結核予防会、北広島病院	1,600円	500円
子宮がん(けい部)	20歳以上で平成29年度未受診の女性(2年に1回)	対がん協会、結核予防会、みよしレディースクリニック	1,500円	500円
大腸がん(便の検査)	40歳以上	対がん協会、結核予防会、市内の医療機関	700円	200円
肺がん(胸部レントゲン)	40歳以上		40~64歳 = 400円 65歳以上 = 無料	40~64歳 = 100円 65歳以上 = 無料
胃がん(胃バリウム)	35歳以上	対がん協会、結核予防会	1,500円	500円
前立腺がん(血液検査)	40歳以上で平成29年度未受診の男性(2年に1回)		600円	200円

集団検診

市内集団検診と送迎バス検診の2種類があります。
 市内集団検診は、各地区に北海道対がん協会の検診車が来て、実施します。
 送迎バス検診は、市内の指定集合場所から札幌市にある対がん協会にバスで行き、受診します。

9月には市内集団検診を実施します。詳しくは、下の表をご覧ください。

◆9月に実施する市内集団検診

日程	受付時間	会場	定員	検(健)診の種類
9月 8日(土)	午前7時～7時45分	大曲会館	105人	胃がん、大腸がん、肺がん がん検診(胃・大腸・肺)だけを受診する方は、できるだけ、こちらの日程で受診してください。
	8時～8時45分			
	9時～9時45分			
9日(日)	午前7時～7時45分	中央公民館	105人	
	8時～8時45分			
	9時～9時45分			
10日(月)	午前7時～7時45分	団地住民センター	105人	
	8時～8時45分			
	9時～9時45分			
11日(火)	午前7時～8時	西の里会館	45人	
	9時30分～10時15分	農民研修センター	35人	
23日(日)	午前7時～7時45分	中央公民館	105人 (健診は75人)	
	8時～8時45分			
	9時～9時45分			
24日(月)	午前7時～7時45分	団地住民センター	105人 (健診は75人)	
	8時～8時45分			
	9時～9時45分			

複数の検診を一度に受診することができます。ぜひ利用してください。



申込期間

8月2日～9日

70歳未満の方は、申し込みに印鑑が必要です

申込み 直接、担当課が各出張所、団地住民センター連絡所、エルフィンパーク

*土・日曜の受け付けはエルフィンパークだけです。

*郵便、電話での申し込みは受け付けません。

12月と平成31年2月には、送迎バス検診を実施します

毎年忘れずに受診を

がんで死亡した人のうち、肺がんの割合は国内で男女共に最も高くなっています。中でも北海道は肺がん死亡率が全国1位で、喫煙率の高さが原因の一つと考えられています。肺がんは部位や性質によって分類があり、治療が難しいと考えられていましたが、現在はいろいろな治療を組み合わせることで、生存率も上昇しています。

がん検診は早期発見・治療に有効です。早く見つかるほど完治の可能性が高くなり、治療に要する費用や時間などの負担も軽くなります。

毎年忘れずにがん検診を受けることをお勧めします。



公益財団法人北海道結核予防会
札幌複十字総合健診センター診療部
医長 奈良祐介さん

無料クーポン券

がん検診などの無料クーポン券を6月に送付しました。ぜひ利用してください。

対象(4月1日現在)

- 子宮頸がん検診=20歳の女性
- 乳がん検診=40歳の女性
- 肝炎ウイルス検診=40・45・50・55・60・65・70歳の方

*肝炎ウイルス検診は、過去に市の補助で受診したことがない方が対象です。

次に該当し、過去5年間に検診を受診していない方にも無料クーポン券を送付します。希望する方は連絡してください。

- 子宮頸がん検診=25・30・35・40歳の女性
- 乳がん検診=45・50・55・60歳の女性

無料クーポン券の使用期限は、平成31年2月28日です。1月・2月は医療機関の予約が大変混み合いますので、早めに受診してください。

